

週報 太田中央ロータリークラブ

2017年2月10日(金) 通算第1170回 通常例会



会長挨拶

会長 大谷 祐三

本日は平和と紛争予防月間ですのでその問題について考えてみたいと思います。

昨年の地区大会で紛争解決学の専門家群馬県出身の瀬谷ルミ子さんの講演を聞きました。桐生女子高から中央大学総合政策を卒業しイギリスに留学し、平和や紛争予防を勉強して、紛争地域の兵士の再就職を支援もしてきた方です。イギリスは紛争解決学というものがあるのですね素晴らしいと思います。戦争で一度も負けたことのない歴史のある国と言うのも納得です。



世界では武力紛争があちこちで起きています。イラクでは国の内部で混乱が起きていますし、イスラエルとパレスチナの紛争は解決のめどが立っていません。現在27カ国で32の武力紛争が起っています。その地域に住む人の合計は23億3000万人。実に世界人口の3人に1人は戦禍に巻き込まれている計算になります。どんな戦争であろうと一番被害を受けるのは、そこに暮らす人々です。



◇例会場 ダニエルハウス 太田市飯田町895 TEL0276-47-1222
◇例会日 金曜日 12:00~
◇事務局 〒373-0853 太田市浜町3-6 太田商工会議所会館4階12号室
TEL0276-48-8231 FAX0276-48-8232
Eメール ota-chuo@rid2840.jp

会長 大谷 祐三
幹事 鈴木 孝史
クラブ広報委員会
委員長 栄井 孝広
副委員長 田村 政一

紛争の質も変化しました。1994年に起こったルワンダの大虐殺では大量破壊兵器は使用されていません。ラジオという原始的なメディアに煽られ、ナタという原始的な生活用品を武器として振りかざす隣人に、100日間で少なくとも80万人が殺されました。当時人口1000万人弱の国だったルワンダにとっては10人に1人。犠牲者の数はユダヤのホロコースト虐殺者の3倍。

新疆ウイグル自治区の暴動、アフガニスタン・イラクでの「対テロ戦争」、日本も決して例外ではなく多くの国際問題を抱えています。この他、チベット紛争、北朝鮮による拉致問題や核問題、報復が報復につながるパレスチナ問題、海賊で注目されるソマリア紛争など、世界各地で紛争が勃発しています。

紛争は、その内容や対立点から大まかに分類されています。独立や分離の紛争であれば「独立紛争」、民族間での紛争であれば「民族紛争」、国家や国境間での紛争であれば「国際紛争」、などが挙げられます。またアメリカ軍では紛争をその規模から三つに大きく分類しています。

そして昨日講演会があり経済ジャーナリストの財部誠一さんはこんな風に述べていました。

21世紀は20世紀の延長ではなく全く違う世界に突入したと考える。それはロシアのクリミア併合や中国の南沙諸島の基地設置にみられるように、国連やNATOを無視しても大した制裁も受けないし何をやっても良いという世界の風潮が出てきたことである。

トランプ大統領が出てきた背景もそこにも関係しているのではないかと。本日安倍首相は米国へ重要閣僚を引き連れ行きました。おそらく尖閣は日米安保協定の範囲内であるとの明言をトランプ氏が発言するものと思われます。又 トランプ政権の首席戦略官スティーブバノン氏は、我々は5年から10年以内に南シナ海において戦争をするだろう。これに疑いの余地はない。と発言しました。我々とは日本を含むという意味でしょうか。先日の7か国の入国禁止はもちろんイスラム原理主義のテロリスト対策でしたが、世界中や自国の司法からも人種差別と批判を受けました。財部氏はその真相は又アラブとユダヤの対立のあるとも述べました。

アメリカは世界の警察という神話は過去のものとなろうとしています。自国は自国で守る、安倍首相の憲法改革はそこに政策の中心があると思われ納得も行くところも多くあります。

もう一つこのようにも述べました。オバマ時代の日本への対応は最初の会談が45分という大変形式的であったものが、今回はワシントンでの会談の後にフロリダに移動しゴルフもして、何度も会食をするという。トランプ大統領の日本に対するリスペクトはすごいものがある。ゴルフをすることは素晴らしいことで、これ以上のチャンスはないと述べていました。本日のニュースでもトランプ大統領は日本の新幹線について賛辞をしており、アメリカも見習うべきとのことでした。

人間関係においても、ボクシングでいうと、いじめのパンチを繰り返す悪者に最低限ジャブを返すことをできなければ永遠に殴り続けられます。隣の大国は一党独裁であり、バブルも完全に崩壊し、変革のできない国であるとも言っておりました。やられる前にやり返せる準備をしておくのは当然の流れかもしれません。沖縄の基地も工事が再開するようです。

紛争を未然に防ぐのがいかに大変でいかに大変なことか理解するのは勉強が必要です。ロータリーの価値は紛争予防にあると言っても過言ではありません。

最後にこんな名言がありましたので紹介します。

「しばしば領土問題は生物の縄張り争いのアナロジーで語られるが、これは不適切である。種によって自己あるいは自分の遺伝子を保存するために必要とされるテリトリーが決まっている。この合理的判断を超えてまで争うことはしない。無駄な行動は死を招く」

本日は平和紛争解決について大谷克己委員長に担当してもらいました。宜しくお願い致します。

幹事報告

幹事 鈴木 孝史

1. 報告事項 なし
2. 連絡事項
 - A. 申し込み・回覧・出欠確認等

①タオル収集のお願い

「太田5RC共同奉仕事業『タオル寄贈』」3月8日（水）

例会場、又は事務局へ持参して下さい。

②次週、17日の例会は休会です。

③例会終了後、理事会を行います。

- B. 分区内の例会変更：なし
分区外の例会変更：なし
- C. 会報：なし



クラブフォーラム

月間テーマ「平和と紛争予防／紛争解決月間」について

クラブ特別委員会 委員長 大谷克己



第4分区A 5RC行動親睦例会 参加

日時：平成29年2月14日18：30～
 場所：太田ナウリゾートホテル
 ホスト：太田南ロータリークラブ



第4分区A IM 参加

テーマ「 友情と奉仕 」

日時：平成29年2月18日15：30～
 場所：館林市 レストラン・ジョイハウス



誕生日会（1・2月生まれ）開催（準例会）

担当：奉仕プロジェクト委員会
 日時：平成29年2月24日19：00～
 場所：太田市小舞木町 いばら

